

フェールセーフ機能追加版 D A C S - 2 6 0 0 F S

(この説明書はDACS-2600FSの機能について記述したものです。

DACS-2600 標準版にはフェールセーフ機能はありませんのでご注意ください。)

フェールセーフ機能の動作

DACS-2600FS は、DACS-2600の機能に加えて、パソコンからのデータ送信が、一定時間(約10秒)以上途絶えると、デジタル出力(8bit)すべてを0(Low)とするフェールセーフ機能をそなえています。10秒以内に、次のデータ送信を行うと、フェールセーフ用カウンタがリセットされて、その時点からタイムカウントが新たにスタートします。また、フェールセーフ状態となった後も、パソコンから新しいデータを送信すると、デジタル出力は送信データにより変化し、タイムカウンタはリセットされます。

フェールセーフ機能を無効とする方法

パソコンプログラムのデバッグ時などで、フェールセーフ機能をテスト的に解除する場合は、モード切替入力をOPEN(通常動作)とした状態で、外部トリガ入力(CN1 23番ピン)をCLOSE として使用します。

このほかの機能は、DACS-2600 標準版と同じです。

2006年11月28日

製造販売	ダックス技研株式会社 〒709-1203 岡山県岡山市南区西紅陽台1-58-650 TEL 08636-2-0782 FAX 08636-2-0395 ホームページ http://www.dacs-giken.co.jp
------	---